

# 市民活動センターだより

6月  
令和元年  
vol.38



## 問合せ

〇ながはま市民活動センター  
長浜市役所〈本庁舎3階〉  
平日 8時30分～17時15分  
〒526-8501 八幡東町632

〇北部サテライトセンター  
きのもと交遊館  
水・日曜日 9時～21時  
〒526-0425 木之本町木之本1118

☎ 65-6525

✉ katsudou@city.nagahama.lg.jp

市民活動に関する事務作業や打ち合わせなどにご利用ください!

## TOPIC | 今月の情報コーナー

### 地域で子どもを育てる

放課後や長期休業中、家庭内で保護者が不在になる小学生を対象に、適切な遊びや生活の場を提供する「放課後児童クラブ」。市内には公設と民営を合わせ35のクラブがあります。

今回は、地域づくり協議会(以下地協)が運営に関わっている2事例を紹介いたします。

#### キッズステーション(余呉地区)

余呉小中学校で放課後児童クラブを運営する「キッズステーション」は、平成21年に設立。同地域在住の元教育関係者らボランティア登録をしている児童支援員と保護者で運営するなか、同27年から余呉地協が事務局機能を担っています。

現在利用する児童は通年で11人でクラブ用の教室で宿題をしたあとは、支援員が茶道の作法を教えお茶を楽し

んだり、学校周辺へ散歩に出かけたりします。長期休業期間中は学区外からも通所児童があり、多い年には50人を超えることもありました。そんななかで、かつて通所していた児童が大学に進学し、“OB”として協力してくれることも。顔の見える関係が築ける地域ならではの、見守りの輪を大切にしていこうとしています。



▲本格的な道具を用いてのお茶の時間。所作を整え心落ち着く時間を設けています

#### トキッズクラブ(高時地区)

高時地協では、学区外のクラブへ通所していた児童がいた経緯から、自分たちの地域で児童育成を担おうとの気運が高まり、高時小学校の児童を対象

にした長期休業中の放課後児童クラブの運営を今年の春休みからスタートしました。

同校をクラブの所在地にし、地協運営スタッフ7人と区内で募ったボランティア8人が支援。同校生徒48人のうち、この春休みは13人が利用、みんなでクラブの看板作りやお菓子作りなどをしました。今後は地域の高齢者サロンとの交流なども計画中で、子どもたちが積極的に地域と関わる機会を設けつつ、取組に関わる住民を増やしていこうとしています。



▲地協運営スタッフの皆さん。児童お手製の看板は高時地域産の木材を使用しています

## こんな活動してます!

「おはなし」を通じて広がる世界を知ってもらいたい。子どもたちが言葉の美しさと豊さに触れ、感性を磨き健やかに成長することを願って、市内で活動する本の読み聞かせや朗読、学校図書ボランティアなど約30グループで結成。

加入するグループは日頃、地域でそれぞれの活動に取り組みながら情報を共有したり、講師を招いて研修会を行ったりして活動の質の向上に努めています。

平成26年からは、読み聞かせをはじめパネルシアターや手遊びなど、おはなしの世界を満喫できる「わくわくおはなしフェスタ」を年に1度開催。各グループが日頃の取組の成果の場として練習を重ね、大人も子どもも楽しめるイベントとなるよう力を合わせ開催し、毎年人気を集めています。

## 長浜市言葉を大切にするまちづくり推進協議会



協議会の取組に共感し、長浜東ロータリークラブも活動を支援

問 長浜市言葉を大切にするまちづくり推進協議会事務局  
生涯学習文化課内 (☎65-6552)

今月の表紙

やさしく幻想的な光を放ち乱舞するゲンジボタルが、初夏の訪れを告げてくれました。(5月27日撮影)